

令和5年度第2回地域協議会議事録

【日 時】 令和5年12月21日（木）16：00～

【場 所】 四日市羽津医療センター4F 多目的ホール

【出席者】 柴田英治（当会副委員長、四日市看護医療大学学長）、河合信哉（四日市市保健所
所長）、伊藤博仙（四日市市保健所副所長）、伊藤誠也（四日市市北消防署署長）、
山路知良（四日市市自治会連合会会長）、内田寛（羽津地区連合自治会会長）、羽
場誓司（海蔵地区連合会会長）、岡山厚志（富田地区自治会会長）、坂本寛（富洲原
地区連合自治会会長）、中村雄一（大矢知地区連合自治会会長）、徳山直子（三重
県乳腺患者友の会『すずらの会』代表）以下 当院職員
住田安弘（院長）、長谷川浩司（副院長）、石井雅昭（附属介護老人保健施設長代
理）、澤田豪人（事務部長）、清武あゆみ（副看護部長）、山口裕子（附属訪問看
護ステーション看護師長）、中島佐知子（地域連携室看護師長）、位田弥生（総務
企画課長）、森田幹治（健康管理センター管理課長）、中川佳代（附属介護老人保
健施設管理係長）

○院長挨拶

皆様こんにちは。ポストコロナということで、この5月にコロナの感染症法上の位置づ
けが5類となり、ほとんど一般的な感染症と同じ状態になりました。

コロナ禍を経験した事で、市民の皆様が病院を受診する判断基準が変化していったと感
じております。それに伴い、入院・外来ともに患者数が減少致しました。特に外来患者数の
1割以上が、平成から令和にかけて減っています。当院に限らず、全国、そして県内の総合
病院も同様、一割程度の患者数が減少しています。

本来受診すべき方の足が遠のくこと危惧しています。周りの方で病院に足が遠のいてい
る方がいたら、後押しをお願いしたいと思います。

コロナ禍で市民の方々には色々支えて頂きました。ポストコロナ時代において、病院とし
て益々頑張りますので、今後ともよろしくお願い致します。

○委員長交代のご報告

四日市医師会副会長の中嶋一樹先生から渡辺信哉先生に交代となりました。

1【現状報告】四日市羽津医療センターからの報告事項

- | | |
|------------------------|-----------|
| 1) 病院の現況報告について | <長谷川副院長> |
| 2) 健康管理センターの現況報告について | <森田管理課長> |
| 3) 介護老人保健施設の現況報告について | <石井施設長代理> |
| 4) 訪問看護ステーションの現況報告について | <山口看護師長> |

2【質疑応答】

① 病院の現状報告について

(学識経験者委員)

コロナの感染症法上の位置づけが変わってからの変化はありますか。

(回答)

5類になった事で他の医療機関でも受け入れ対応可能となりました。別傷病(持病)で搬送され、検査の結果が陽性というケースが増えており、コロナ単体の入院及び診察は下降傾向にあります。紹介患者も徐々に受け入れる事ができるようになってきました。

(学識経験者委員)

コロナ前に戻りつつあるという理解でよろしいでしょうか。

(回答)

実際、それに近い状況になっています。現在はコロナよりもインフルエンザが猛威を振るっており、受診割合も多い状況です。

② 健康管理センターの現状報告について

(学識経験者委員)

巡回健診等が減少傾向にありますか、原因は何ですか。

(回答)

直近の2019年には5万件を超えていましたが、近年はそれに届いておりません。原因は、医師不足です。2019年は1日6台バスが出ていましたが、2020年より人員不足のためバス健診を制限しています。

(学識経験者委員)

企業の契約解除はありますか。

(回答)

あります。要素の一つにデジタル化の問題があります。
企業の担当者様からは、『結果を考慮した面談がしたい』というデジタル化を求め

る相談が非常に多いのですが、当センターは現在紙での運用となっております。
今後の健診システムの更新で、改善していきたいです。また、マイナンバーカードで結果が閲覧できるシステムの導入も検討しております。

(学識経験者委員)

非常勤の医師確保は難しいのでしょうか。

(回答)

現状難しいです。巡回健診となると遠方のケースも多いため、宿泊できる医師を確保しなければなりません。その結果、採用の幅がかなり限られてきます。交通の利便性や通勤を考えると名古屋市内、もしくは近隣を希望する方が多いので、四日市市はそのエリアですが、応募は少ない状況です。

(学識経験者委員)

すい臓がん検診の経過が知りたいです。

(回答)

順調に増えており、次回報告させていただきます。

③ 介護老人保健施設の現況報告について

(学識経験者委員)

社会の高齢化によって介助が必要な高齢者が増えていますが、現場はどの様に感じていますか。

(回答)

80～90歳超えた高齢者の人数が増えている事に伴って、介護の需要が増えていくのは妥当であると考えております。

(学識経験者委員)

その状況で、資源が追い付かないことはありますか。

(回答)

正直、介護職員の人員確保に関しては厳しいです。

当施設でも欠員があります。日本国外の方を研修して受け入れているような介護施設も増えてきております。国の方針も含めて、今後はそういった形での人員補充がされていくのではないかと思います。

(学識経験者委員)

外国人労働者はいますか。

(回答)

1名居ます。

④ 訪問看護ステーションの現況報告について

(学識経験者委員)

三泗地区内で24時間365日対応している訪問看護ステーションは他にありますか。

(回答)

ステーションと名前のついているところは、24時間365日対応しております。

(学識経験者委員)

体制が知りたいので教えてください。

(回答)

8名で1日約33名程度の患者様を分担しています。曜日は月水金が特に多いです。

(学識経験者委員)

過重労働になっていませんか。

(回答)

曜日により対応量に変動がありますので、大丈夫です。

③【意見交換】

(病院委員)

病院から一点、報告があります。令和5年12月4日午前11時頃に起きた当院駐車場出口前の道路での交通事故についてです。報道にもあったように当院の駐車場出口から出ようとした車が、ゲートを突き破って道路に出てしまい、前の道路を走行していた車と接触してこの車が歩道を歩いていた歩行者に接触してこの歩行者が亡くられるという交通事故が起きました。この件で当院の出口での駐車券を入れる機械が駐車券を入れづらいという問題がありました。そこで、早急に駐車場の環境を見直さなければならないということで、現在、駐車場のシステム変更を検討しています。取り急ぎ、事故の翌日から朝から夕方まで駐車場の出口に職員を配置し、駐車券を機器に入れるようにしています。12月19日には北警察の交通課長と四日市市の道路維持課の方と駐車場システムについて、検討しました。また、羽津連合自治会長のご支援もいただきながら、今後、このような事故が二度とおきないように改善する所存です。

(外部委員)

羽津山の自治会としても心配しているところです。物損事故が、3か月前にも起

きており、病院前の道路では交通事故が5年間で5回起きていると聞いています。死亡事故となった事で近隣住民の方からも多くの声が届いています。どうか早めの対応をお願いしたいです。高齢者も多いので、安心して通える病院にして欲しいです。

(学識経験者委員)

駐車場出口の職員配置がその対策であることに納得が이었습니다。

(病院委員)

8:30~17:15の間に職員を配置しています。同時に駐車場システムの変更も検討しています。

(外部委員)

病院の移転予定はありますか。

(病院委員)

現段階ではありません。しかし、建物の老朽化は事実です。いずれ可能性はありますが、現段階では決まっておられません。

(外部委員)

北消防署の伊藤です。先日の事故について、消防の救助活動についてしっかりとご協力いただきましてありがとうございます。日頃の救急車の受け入れもしていただきありがとうございます。10月16日より救急映像等伝送システムの導入を開始し、それに伴い映像や心電図の情報提供を行っています。今後とも受け入れよろしくお願いします。

(外部委員)

小児科の入院人数が少ない件について

(病院委員)

現在正規職員がおらず、任期付き医師が1名と、大学からの医師派遣で診療を行なっております。そのため、積極的な入院というのは困難です。大学の方針も現状維持であります。

○長谷川副院長 閉会挨拶

本日は年末のお忙しい中、また寒波も来て寒い中、貴重な時間を割いてお集まり頂きありがとうございます。地域支援病院として、地域の方々の健康と医療にて少しでも貢献できるよう今後とも頑張らせて頂きます。

また年末年始にかけてインフルエンザが増えてくると思います。体調を崩す方も多いかと思いますが、微力ながら職員一丸となって地域の方々の健康を守る形で協力させていただきたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。本日は貴重なお時間ありがとうございました。

○事務連絡

次回開催 令和6年3月14日(木) 14時～